

令和5年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふ り が な	とやのがたこうえんすけーとぱーくせいびじぎょう
1. 事業(施策)の名称	鳥屋野潟公園スケートパーク整備事業
2. 事業(施策)実施期間	令和 4年 3月29日 ~ 令和 5年 9月10日
3. 事業費(工事費)	430百万円
4. キーワード	アーバンスポーツの場の提供、最新技術と職人技の融合、利用者目線の整備、にぎわいの創出
5. 事業概要	
<p>県立都市公園内にスケートパークを整備する事業である。 「気軽にスケートボードを体験・練習でき、アスリートを目指すきっかけの場」とすることをコンセプトに、初・中級者向けのパークとして、令和5年7月にオープンした。</p>	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a)新しい建設技術の導入、活用 (b)既往技術の創意工夫、活用 () ()	() () () ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a)当該事業による本来目的の効果 (f)地域の活性化 (k)施工の合理化・効率化 ()	() () () ()

7. 特にアピールしたい点
<p>パークエリアは複雑な曲線で形成され、コンクリートの造形(出来形)が滑走面の滑りやすさや楽しさ、安全性に大きく影響する。</p> <p>そのため、掘削作業では、CIM データを基に、マシンガイダンス技術を活用したバックホウ施工を行い、複雑な曲線の基盤を精度良く造成した。コンクリート吹付や表面均しによる滑走面の造形作業は、機械施工では困難なため、熟練技能者が特殊技術を用いて行うことで、非常に滑らかな曲線に仕上げることが出来た。</p>

8. 事業を代表する写真及びキャプション



全景（航空写真）



全景（近影）

9. 事業内容・添付資料

1 事業内容

○滑走エリア：約2,000m²

＜内訳:ストリートエリア 1,240m²、パークエリア 250m²、屋内エリア 450m²＞

○その他施設：管理棟、ナイター照明、専用駐車場(48台)

東京2020オリンピック競技大会での日本人選手の活躍などでスケートボードが注目を集め、競技人口も増加している。新潟県内でも、公園や街中でスケートボードを楽しむ姿を見ることが多くなってきた。しかし、新潟市を含む周辺市町村には本格的に滑走できるパークが無く、スケートボードを楽しむ小中学生や普及に取り組む関係団体などを中心に、安心して楽しめる場所を求める声が高まっていた。そこで県では、FIFA2002日韓W杯が開催されたデンカビッグスワンスタジアムなどスポーツ施設が整備されている鳥屋野潟公園の一角に、スケートパークを新設することとした。

整備にあたっては、利用者からの要望や意見を踏まえ、「気軽にスケートボードを体験・練習でき、アスリート育成のきっかけの場となるパーク」「未経験者や愛好家から、競技者を目指すスポーツ志向のスケーターまで、皆が楽しみ、また来たいと思えるパーク」というコンセプトのもと、初心者～中級者向けのパークを目指した。まずは、アドバイスをいただいた関係団体の方々と幾度も意見交換や協議を重ね、設計を固めた。施工時においても、スケートボードの専門知識を持つ現場の職人から意見を聞きながら、設計側と連携して迅速な設計変更を行うなど、より良いパークづくりに最大限努めた。夏休みまでにオープンという目標のもと、4か月という短い施工期間の中で、建築工事も含めた多数の工事を平行して進めていく必要があったが、大勢の関係者が日々綿密な連絡調整を行いながら進め、令和5年7月に無事オープンすることができた。

2 アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」

1) - (a) 新しい建設技術の導入、活用、1) - (b) 既往技術の創意工夫、活用

複数の曲線からなる「ポウル」と言われるセクションの施工にあたっては、従来の平面図、横断図といった設計図面では表現しきれず、現場で丁張を設置することも難しい状況であった。このため、掘削作業にあたってはCIMによる図面の作成を行い、図面数値の不整合を見つけ出すとともに、3Dプリンターによる立体化により、作業員全てがイメージできるようにした。また、CIMデータを基に、粗彫りにマシンガイダンス技術を活用したバックホウを使用することで丁張の設置が不要となり、工程の短縮に寄与した。

滑らかな曲線をもつコンクリート部では機械による施工が困難であるため、東京オリンピックの会場も施工したスケートボードの専門知識を持つ職人が特殊な定規やコテなどを使用し、利用者目線でコンクリート表面を造形することで滑らかで滑走しやすい表面に仕上げた。

2) - (a) 当該事業による本来目的の効果

当スケートパークが整備されたことにより、新潟市周辺を含めた県内のスケートボード環境の充実が図られた。県内遠方からの来場者も多くみられる。スケートパークに対する地域の期待は高く、10代未満から60代まで幅広い層が来場し、日々40人程のスケーターが利用している。

9. 事業内容・添付資料

また、初めての方や初心者を対象としたスクールを毎週開催することで、スケートボードを始めるきっかけづくりとなり、県民の健康づくりとスポーツ人口の増加に寄与している。

2) - (f) 地域の活性化(にぎわい創出、地域振興を含む)

スケートボードだけでなく、アーバンスポーツ関係のイベントが開催されて約 2,000 人が来場するなど、にぎわいが創出されている。また、メディアに取り上げられたことから、県外からの来場者も多く、北は北海道から南は九州・沖縄まで、幅広い地域の方が来場され、地域振興としての役割を担うものとなった。

2) - (k) 施工の合理化・効率化

<屋外工事>

実質工事期間が 4 ヶ月と短い中での工事であり、コンクリートの養生期間の短縮と造成のしやすさから、ストリートエリアのセクションを形成するための重力式擁壁をプレキャスト製品に変更し、効率化を図った。

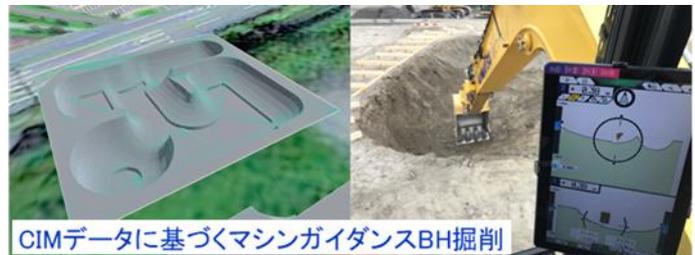
<建築工事>

管理棟建設では、工期を短縮できる軽量鉄骨により効率化を図った。また、屋内エリアのテント建設では、15m×30mの大空間を短期間で施工する必要があったことから、あらかじめ工場で製作された鉄骨と膜で組み立てる骨組み膜構造を採用し、建て方工事の工期短縮を図った。加えて、内壁面は鉄骨が露出しており、衝突による利用者の怪我が懸念されたため、内壁に合板を張ることで安全性の向上に努めた。

【位置図】



【ボウル(パークエリア)施工の流れ】



【屋内エリア】



【オープニングイベント(R5.7.30)】



【利用状況】

